



2月の園だより

令和5年2月1日
目黒区立ひもんや保育園長

1月の終わりに大寒波の到来で、凍えるような寒さを経験した子どもたちです。前日に氷を作ろうと子どもたちと一緒にいろいろな容器に水を入れておくと、朝には見事に氷ができていました。「わあできてる」と子どもたちは大喜びです。タライの氷は大きすぎて手に持てませんが、小さな容器にできた氷は丁度手に持てる大きさです。「冷たい」と言いながら手に取ると氷が光ってキラキラしています。1歳児クラスの子はお化粧のまねっこのように指で氷を触り、手についた水を顔につけています。幼児クラスになると、きれいな氷を容器に入れたまま大事そうに手に持ち、眺めている子もいました。寒い季節ならではの自然現象に触れ、冷たさや氷が溶けてなくなる不思議さを感じる良い経験となりました。

2月3日は節分です。節分は邪気を払って春を迎えるための大切な行事です。今年も子どもたちのかわいい鬼のお面が出来上がりました。行事からも季節を感じていきたいと思います。

2月の行事予定

節分会
0歳児クラス懇談会
1歳児クラス懇談会
2歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
4歳児クラス懇談会
乳児お楽しみ会
中旬 身体計測 避難訓練



3月の行事予定

卒園式
お別れ会
中旬 身体計測 避難訓練

～鬼のお面を作りました～

3歳児クラス

鬼の角をハサミで切って貼り、表情は思い思いに描きました。



4歳児クラス

紙袋と毛糸、紙など組み合わせ個性的な鬼を作りました。



5歳児クラス

一枚一枚丁寧に紙を貼り、張り子で色とりどりの鬼ができました。



～用務より～

用務は子どもたちが安全な園生活が送れるように、園内の環境の整備や清掃をはじめ、5歳児クラスと一緒に田植えをしたり、コット敷きをしたりする中で、様々な場面で園児と触れ合っています。

ある日、トイレ掃除をしていた時のことです。ひとりの子どもがスリッパを丁寧に揃えてくれていたので「ありがとう」と声をかけると「いつものことだよ」と嬉しそうに答えてくれました。こんな風に子どもたちとの何気ない会話から、お互いの距離が近くなり嬉しく感じます。節分も子どもたちと一緒に楽しみたいと思います。

こんな遊びを楽しんでいます！

つくし組（0歳児クラス）

はいはいしたり、歩いたり、興味のある所に行って、探索をしている子どもたちです。部屋の中では落とし遊びが好きで、容器の中にポトンとチェーンリングを落とし、入ると保育士の顔を見て、“できた”と言っているようです。また歌や手遊びも大好きで、保育士が♪どっちーどっちーえーべっすさん♪と歌ったり手遊びをするとニコニコ顔で体を揺らしたり手を振ったりして楽しんでいます。いつものように手遊びをして遊んでいると、手にお手玉を握りしめた子が保育士のそばに来て「わたしもやって」と言うかのように手を差し出したので、それに応えて♪どっちの手に入ってくるか♪と手の中にお手玉を隠すと“こっち”と言わんばかりに保育士の手を触ります。手を開きお手玉を見せると“やったー”と笑顔で答えてくれました。終わると“もう一回”と何度も楽しんでいます。保育士とやり取りしながら、楽しい思いをたくさん共有して遊んでいます。



すずらん組（1歳児クラス）

幼児クラスの子が鉄棒に縄を結び、ブランコを楽しんでいる姿を憧れの目で見してきた子どもたちです。自分たちもやってみようと、縄とバスマットを運び「やって」と縄を保育士に渡し、鉄棒に結んでもらって座ろうとしますが初めはうまく座ることもできません。やっと座ってみるものの、幼児の子どもたちがやっているように漕ぐことはできませんでした。それでも両手で縄をギュッと掴んで縄を押ししたり戻したりして体を揺らし、乗っているつもりで楽しんでいました。保育士は手を貸して乗せてあげようかと思いましたが、“自分でやりたい気持ち”を大事にして見守っていると、乗りたいから繰り返しチャレンジし、少しずつ体のバランスをとるコツを掴んできました。“やってみたら出来た”そして“もっと足をあげて乗りたい”と夢中になり今では足をビュンと高く上げて乗れる子が増えてきました。子どもたちの“やってみたい”“楽しいからもう一回”という気持ちを大切に、遊びを見守っていきたいと思います。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

回転寿司ごっこがブームです。布を洗濯ばさみでお腹に巻きつけたエプロンとねじりはちまきがお寿司屋さんのスタイルです。

長テーブルにお皿を並べ、お手玉の上にフェルトの魚を乗せたり、フェルトのリボンで巻いて上にチェーンリングを乗せたり、いろいろな素材を使ったお寿司が並ぶと回転寿司屋の開店です。「いらっしゃいませ」の声に「お寿司屋さんになりたい」と急いでやって来る子もいます。「ラーメンできた」「ケーキも」と次々に品物がいっぱいになると「お寿司ください」とお客さんがやってきました。すると、お客さんが注文するより先に「まぐろです」「ラーメンお肉入りです」と店員さんがどんどん出して、店員さんの“おすすめ”の販売も始まります。「持って行きますか」とお皿を布で包んでくれるテイクアウトのサービスもあり、子どもたちの日ごろの経験が再現されているようです。子どもたちが経験したことやイメージしたものを、再現できるよう遊具を用意して、お寿司作りや、お店でのやり取りを一緒に楽しんでいます。

